

実施日：7月15日（4校時）	
領 域：特別の教科 道徳	
取組名：責任ある行動について考えよう（「許せないよね」（きみがいちばんひかるとき② 光村図書））	
対 象：2年生	実施場所：2-1教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットへの匿名の書き込みから行き違いが生じてしまう物語を通して、自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えさせる。また、物事を自律的に実行して、その結果に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。 <p>【人権教育の視点に立ったねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の無責任な行動が憶測から真実になってしまい大きなトラブルに発展することを理解する。 ・ 話し合いにおいては、他人の意見を尊重し、共感する。 <p>【人権教育に関するキーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決能力の育成 ・ 情報モラル 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要【別紙②】</p> <p>【導入】めあての確認…責任ある行動とは、どのようなものだろう…事前にワークシートに記入</p> <p>【展開】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①本文を読む ②内容理解 ③発問「今回のことをきっかけに、私が気付いた責任ある行動に大切なこととは何だろう」 〔個人思考〕→〔グループ思考〕→〔全体共有〕 ※行動だけでなく理由も問い返しをしながら出させる。全体にも共有し、個々の考えを深めさせる。 <p>【まとめ】</p> <p>〔個人思考〕→〔全体共有〕</p> <p>※「責任ある行動」の確認をしたあと、実際に自分自身はできているか実生活で振り返らせる。 ※インターネットの怖さを理解させる。（憶測）→（強化）→（真実）</p>	
ウ 連携先：家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>長期休業前の懇談会で、各保護者に情報機器についての家庭内でのルールや生徒の使用状況について確認し、生徒間で起こりやすいトラブルについて、本時の授業内容と関連させて説明した。</p>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点</p> <p>研究推進委員会による校内研修として実施した。参観者が「道徳授業参観シート」に意見や感想を記入し、そこでの情報を職員研修で共有した。</p>	
<p>カ 評価の方法</p> <p>ワークシート、感想【別紙④】</p>	
<p>キ 成果</p> <p>生徒の回答に対して「〇〇のとき、どうすればよかった？」など、さらに問うことでより生徒は「自分ならこうする」という主体的な考えを深めることができた。</p>	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの意見を書くと相手の顔を見て話を聞けない。書き写す生徒がいるが、「書く」より「聞いて考える」「自分の考えと比較する」時間になるように、全体に投げかける必要があった。 ・ 日常的にグループで話すときは「リアクションができて、周りから受けた思いを伝える生徒を育てよう」と教師側が思うことがより必要である。 	

